

一般演題プログラム

平成 23 年 3 月 5 日（土曜日）

第 1 会場（看護学科棟 1 階 講義室 4） 9：10～11：00

座長：高村 政志（熊本県赤十字血液センター）

- 1－1． トリアージ研修における知識の保持と忘却、学習の効果について
高橋 優 （九州大学病院）
- 1－2． NBC 災害に関する災害医療研修後の知識の残存について
坂本章子 （九州大学病院）
- 1－3． 看護教員の災害看護学の教育における技術演習への認識
松永妃都美 （佐賀大学大学院医学系研究科 地域・国際保健看護学）
- 1－4． ベトナムにおける災害看護教育導入の試み
森山ますみ （日本赤十字九州国際看護大学）

—休憩（10 分）—

座長：青山 温子（名古屋大学医学部 社会生命科学講座 国際保健医療学）

- 1－5． 医師不足の状況における task-shifting：東ティモールの事例
神谷高志 （名古屋大学医学部）
- 1－6． メキシコにおけるピアリーダー養成講座の評価
江角伸吾 （大阪大学人間科学研究科）
- 1－7． 国際保健および地域医療を志向する若手医療従事者および医療系学生の新たなキャリアプランの検討
船戸真史 （長崎大学）
- 1－8． インドネシア人看護師候補者の国家試験合格に向けた臨地看護統合教育の開発・実践・評価
金子真理 （神戸大学大学院保健学研究科）
- 1－9． 国際協力としての研修事業の成果に関する考察
下村真貴子 （大阪大学大学院人間科学研究科）

第2会場（看護学科棟2階 講義室3） 9：10～11：00

座長：石山 さゆり（日本赤十字九州国際看護大学）

- 2-1. 「看護師の役割拡大」に関する医師と看護師の認識
大隈伸子 （佐賀大学大学院医学系研究科 地域・国際保健看護学）
- 2-2. 日本に Nurse Practitioner は必要か？
児玉豊彦 （兵庫県立大学看護学部・精神看護学）
- 2-3. 地域看護における早期体験実習の意味づけ～在日外国人への健康課題の理解に向けて～
福山由美 （豊橋創造大学保健医療学部 看護学科 ）
- 2-4. 看護大学教育における海外体験学習の経過 第2報
福島綾子 （日本赤十字九州国際看護大学）

—休憩（10分）—

座長：喜多 悦子（日本赤十字九州国際看護大学）

- 2-5. 東ティモール農村部におけるアウトリーチ保健活動（SISCa）
鈴木章弘 （名古屋大学医学部）
- 2-6. Evidence-Based Practice of Maternal and Child Health (MCH) Handbook for MCH Services
～A Meta Analysis Study of Mother's knowledge on Breastfeeding and Tetanus Toxoid (TT)
immunization～
Baequni Boerman （Graduate School of Human Sciences, Osaka University ,
Osaka, Japan）
- 2-7. 保健師による外国人への母子保健サービス提供の現状と課題
山下 正 （神戸大学大学院 保健学研究科 国際保健学領域）
- 2-8. アジアにおける双方向型保健学教育プログラムの検討 第3報
堀江 修 （神戸大学大学院 保健学研究科）
- 2-9. マダガスカル共和国の学校保健の現状とボランティア活動の報告
山本あゆみ （医療法人 長晴会 介護老人保健施設 きりん）

第2会場（看護学科棟2F 講義室3） 14：40～16：50

座長：後藤 昌昭（佐賀大学医学部 歯科口腔外科学講座）

- 3-1. 小学生における口腔健康行動の変化—バングラデシュにおいて—
安本 恵 （北海道大学歯学研究科 口腔健康科学講座 予防歯科学教室）
- 3-2. Pacific Partnership2010 の参加からの学びと課題
市川美由紀 （HuMA：災害人道医療支援会）
- 3-3. 生活習慣病予防対策の検診がスリランカ住民の健康増進行動に与えた影響
小山佳那子 （長崎大学大学院 国際健康開発研究科）
- 3-4. 米国の医療通訳者に対するインタビュー調査
竹迫和美 （大阪大学大学院 人間科学研究科）
- 3-5. NGO と企業による協働プロジェクト立案
大野博之 （認定 NPO 法人 地球市民の会）

—休憩（10分）—

座長：吉村 健清（産業医科大学 名誉教授）

- 3-6. ケニア農村部における子どもの障害率と障害を引き起こす要因
川勝義人 （長崎大学大学院 国際健康開発研究科）
- 3-7. ケニアとラオスにおける HDSS の展開と現状
後藤健介 （長崎大学熱帯医学研究所）
- 3-8. 途上国で食事調査を行う際の留意点に関する考察
水元 芳 （福岡女子大学人間環境学部）
- 3-9. バヌアツ共和国マランパ州における生活習慣病の実態とその課題
真崎陽子 （JICA 九州センター 佐賀県国際協力推進員）
- 3-10. ケニア、ビクトリア湖畔の漁師と女性加工者に見られる社会経済的、性的パートナーシップに関する研究
神谷保彦 （長崎大学国際健康開発研究科）